

第11回 東北復興DX・i-Construction 連絡調整会議を開催(R4.5.26)

東北地域の建設現場においてDX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進により生産性の向上や、魅力ある建設現場を目指すことを目的とし、有識者、発注者及び建設業団体からなる会議を開催。(web形式)

【議事】

- ①規約の変更
- ②東北地方整備局からの情報提供
- ③意見交換
- ④関係機関におけるDX・i-Construction取組状況 等



◆出席者

【学識経験者】 東北大学大学院 高橋教授、皆川准教授

【国土交通省】 東北地方整備局

【自治体】 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市

【業界団体】

東北建設業協会連合会、日本建設業連合会東北支部、日本埋立浚渫協会東北支部、日本建設機械施工協会東北支部、建設コンサルタツ協会東北支部、東北測量設計協会、東北地質調査業協会、日本建設機械インテリ協会東北協議会、日本道路建設業協会東北支部

【議事】①規約の変更について

【東北地整】

デジタル技術を活用した生産性向上や魅力ある建設現場を目指しDX推進を図るためには、3次元データ(BIM/CIM)の利活用が必須であり有識者を追加提案。

【議事】②東北地方整備局からの情報提供

【東北地整】

i-Construction (ICT・BIM/CIM)、インフラ分野のDX、東北復興働き方・人づくり改革プロジェクトの取組状況の報告。

ICTサポーター制度については、運用開始後1ヶ月の活動状況の報告(6社18件(支援活動12件、問い合わせ6件))

【議事】③意見交換

「担い手の育成・確保(地域の守り手確保)」をキーワードに意見交換

東北地域の建設業就業者数は全国を上回る減少傾向にあり、一部の自治体では就職者数の充足率が2割に満たない状況となっている。このような状況を踏まえ、各県では小・中学生までを対象にしたキャリア教育に着手していることから、その取組み経緯や内容等について意見交換を実施。

青森県: 県内全小中学校(約420校)に教材を配布。県職員による出前講座

岩手県: 中学校11校を対象に重機操縦・測量体験

宮城県: おうちづくりの学校見学会、小学生と保護者の現場見学会

福島県: 現場見学会(小学生(4~6年生)を対象、親子を対象)

東北建設業協会連合会: 中学生を対象に体験型現場見学会、AR・VR技術体験

入職前の学生のみならず、小・中学生を対象としたそれぞれの団体のフィールドに応じた重層的・多面的な取組みを行っていく必要性を確認。

— 有識者からのコメント —

- ・どれだけ自動化が進んでも、人が関与する限りは人材育成は重要である。
- ・小中学生から建設や施工に関して興味を持ってもらうことは重要であり、各県が様々な取組みを実施しているのは非常に心強い。
- ・保護者の方にも建設業を理解して頂き、魅力を伝えていく事も必要。
- ・進路選択をする前の学生に興味を持って頂くために、わかりやすい言葉で、SNSや動画などのツールを活用して発信して欲しい。

【議事】④関係機関におけるDX・i-Construction取組状況 等

・各会員団体からの活動状況・取組状況の報告